

神奈川県議会議員の松田よしあき（松田良昭）です。

日頃より、政治活動にご理解とご支援をいただき、誠に有難うございます。

松田よしあき公式メールマガジン

【MATSU-MAGA】

●令和6年 神奈川県議会松田良昭議員の年頭所感

タイトルは 「がんばろう！」

初日の出に手を合わせ、穏やかな一年を念じた夕方、能登半島を地震が襲った。

ご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災地に心を寄せて行きたいと思っています。

新年会でも戸惑いを感じておられる方もお見受けいたしますが、私は「お一人お一人が奥能登を思い、自らの本分を確認しその事に精一杯頑張りましょう」とお話しさせて頂いています。

被災地復興には長い時間がかかるでしょう。国際情勢も混沌としています。陽はまた必ず昇る。どんな状況でも必ず変化していきます。コロナ禍も3年ほどで日常が戻って来ました。本年は甲辰の歳、変わり行く社会が一人一人の思いで明るく元気な一年であることを願っています。私もがんばります。

●令和6年の神奈川県政展望について松田良昭議員からコメントが

寄せられました。「令和6年 いざ神奈川県政へ」 その中から今回は2点ほどを掲載致します

タイトル 「経世在民」

今年の日本経済は、物価と賃金がともに上昇する好循環を実現可能か問われています。

経済予想では、円安、輸入コストの上昇、各企業の価格転嫁が物価を上げる仕組みは引き続き今年も続くと言われていて。そうすると堅調な業績を賃上げや投資に向ければ、展望が開けてきます。

神奈川県は日本の縮図と言われます、経済動向も神奈川の各指数は顕著にそれを表します。投資の継続、人材確保、デジタル活用等県庁が応援態勢を進めれば、新たな成長を導く事となっていくことであり大いに期待すべきでしょう。

タイトル「則天去私」

コロナ禍、震災のなかで、子供達、教育に心しなければなりません。未来を担う幼少年、青年をいかにして育て、人格の形成を図るか、真剣に取り組まなければなりません。

「天下の本は国にあり、国の本は家にあり、家の本は身にあり」と孟子の言葉。

天の揺らぎも、まず自分の身を修めねばならないということです。

私心なく天の摂理のなかで心して向かっていきたいと考えています。

●そのほか日常の活動報告につきましては、下記で随時発信しております。

ご参照いただければ幸いです。

公式 HP :

<https://www.matsudayoshiaki.com/>

Facebook :

<https://www.facebook.com/matsuda5055>

公式 LINE

<https://lin.ee/fvq2HXw>

※このメールは、後援会にご登録頂いた方、名刺交換等でご縁をいただいた方、ホームページ等から配信申込されたにお送りしております。

※なお、配信を希望されない場合につきましては、<https://plus.combz.jp/connectFromMail/leave/gcym8643> にアクセスしてお手続きいただくか、gcym8643leave@mr.cbz.jp に「配信不要」とご返信をお願いいたします。

※当メールは送信専用となっております。ご連絡は下記事務所までお願いいたします。

<神奈川県議会議員 松田良昭政務活動連絡事務所>

〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 4711-1 オセアン矢沢ビル 204

TEL 045 (881) 5055

FAX 045 (881) 7172